

1.対象生態系の分布面積

1-1.面積（詳細は別紙1参照）

■藻場面積

(単位：ha)

地点	潜水調査地点	藻場面積			計
		UAVオルソ画像	水中ドローン	環境省藻場調査	
本土2023	St.1～3	21.93	—	10.93	32.86
	St.4	25.18	—	0.20	25.38
	St.5	32.10	—	1.10	33.20
大島2023	St6,10,17	64.02	—	17.04	81.06
長島2023	St.11	20.67	—	3.98	24.65
	St.12	4.67	—	0.45	5.12
原島2023	St.13,14	39.60	—	30.01	69.61
机島2023	St.15,16	12.29	—	27.50	39.79
平島2023	St.7～9	24.12	—	7.21	31.33
本土2024	St.18	43.99	—	0.81	44.80
	St.19,20	68.63	—	29.04	97.67
	St.21,22	61.69	—	7.80	69.49
本土2025	St.23、24	37.86	—	3.46	41.32
	St.25	66.91	—	26.61	93.52
	St.26	—	27.47	—	27.47
計		523.66	27.47	166.14	717.27

- ・「地点名2023」は、2023年度からの継続申請範囲
- ・「地点名2024」は、2024年度からの継続申請範囲
- ・「地点名2025」は、2025年度申請範囲

1.対象生態系の分布面積

1-2.被度（詳細は別紙1参照）

■地点別被度

調査日： 令和7年6月5～7日

地点	潜水調査地点	測定水深 (m)	水深 (m)	大型海藻の被度（%）と主な海藻種		
				ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	マメタワラ	キレバモク
本土2023	St.1	4.2	3.0		95	
	St.2	4.4	3.3		95	
	St.3	4.3	3.4		97.5	
	St.4	2.3	1.5	100		
	St.5	2.3	1.0	90		
大島2023	St.6	2.3	1.0	80		
	St.10	4.4	3.2	100		
	St.17	3.7	2.1	90		
平島2023	St.7	3.6	2.5	100		
	St.8	4.8	3.8	100		
	St.9	5.2	4.3	95		
長島2023	St.11	5.1	4.2	95		
	St.12	3.8	2.8	100		
原島2023	St.13	2.8	1.9	100		
	St.14	5.6	4.1	100		
机島2023	St.15	4.5	3.0	100		
	St.16	3.4	2.0	100		
本土2024	St.18	1.3	0.5			80
	St.19	2.6	1.4			80
	St.20	4.0	2.6			85
	St.21	3.8	2.4			75
	St.22	5.4	3.8			100
本土2025	St.23	3.6	2.2			95
	St.24	2.3	1.0			70
	St.25	3.9	2.7			80
	St.26	4.2	2.7			100

※赤字はイソモク等のその他の種が優占していたが、褐藻綱ヒバマタ目ホンダワラ科に属することからキレバモクとして分類

■地点別平均被度

地点	潜水調査地点	平均被度（%）
本土2023	(St.1~3)	95.83
	(St.4)	100.00
	(St.5)	90.00
大島2023	(St.6,10,17)	90.00
長島2023	(St.11)	95.00
	(St.12)	100.00
原島2023	(St.13,14)	100.00
机島2023	(St.15,16)	100.00
平島2023	(St.7~9)	98.33
本土2024	(St.18)	80.00
	(St.19,20)	82.50
	(St.21,22)	87.50
本土2025	(St.23,24)	82.50
	(St.25)	80.00
	(St.26)	100.00

■調査地点



CO2吸収量の算定

1.対象生態系の分布面積

1-3.実勢面積（詳細は別紙1参照）

・ 実勢面積 = 藻場面積 × 被度

■ 実勢面積

1 現地調査（UAV＋水中ドローン＋潜水調査）

地点	藻場面積 (ha)	被度 (%)	実勢面積 (ha)
本土2023 (St.1~3)	21.93	95.83	21.01
本土2023 (St.4)	25.18	100.00	25.18
本土2023 (St.5)	32.10	90.00	28.89
大島2023 (St.6,10,17)	64.02	90.00	57.61
長島2023 (St.11)	20.67	95.00	19.63
長島2023 (St.12)	4.67	100.00	4.67
原島2023 (St.13,14)	39.60	100.00	39.60
机島2023 (St.15,16)	12.29	100.00	12.29
平島2023 (St.7~9)	24.12	98.33	23.71
本土2024 (St.18)	43.99	80.00	35.19
本土2024 (St.19,20)	68.63	82.50	56.61
本土2024 (St.21,22)	61.69	87.50	53.97
本土2025 (St.23,24)	37.86	82.50	31.23
本土2025 (St.25)	66.91	80.00	53.52
本土2025 (St.26)	—	—	27.47
計	523.66		490.58

※St.26のみ水中ドローンで把握

2 環境省藻場調査

地点	藻場面積 (ha)	被度 (%)	実勢面積 (ha)
本土2023 (St.1~3)	10.930	95.83	10.47
本土2023 (St.4)	0.200	100.00	0.20
本土2023 (St.5)	1.100	90.00	0.99
大島2023 (St.6,10,17)	17.040	90.00	15.33
長島2023 (St.11)	3.980	95.00	3.78
長島2023 (St.12)	0.450	100.00	0.45
原島2023 (St.13,14)	30.010	100.00	30.01
机島2023 (St.15,16)	27.500	100.00	27.50
平島2023 (St.7~9)	7.210	98.33	7.08
本土2024 (St.18)	0.810	80.00	0.64
本土2024 (St.19,20)	29.040	82.50	23.95
本土2024 (St.21,22)	7.800	87.50	6.82
本土2025 (St.23,24)	3.460	82.50	2.85
本土2025 (St.25)	26.610	80.00	21.28
本土2025 (St.26)	—	—	—
計	166.14		151.35

実勢面積

地点	実勢面積 (ha)
本土2023 (St.1~3)	31.48
本土2023 (St.4)	25.38
本土2023 (St.5)	29.88
大島2023 (St.6,10,17)	72.94
長島2023 (St.11)	23.41
長島2023 (St.12)	5.12
原島2023 (St.13,14)	69.61
机島2023 (St.15,16)	39.79
平島2023 (St.7~9)	30.79
本土2024 (St.18)	35.83
本土2024 (St.19,20)	80.56
本土2024 (St.21,22)	60.79
本土2025 (St.23,24)	34.08
本土2025 (St.25)	74.80
本土2025 (St.26)	27.47
計	641.93

2.単位面積当たりの乾燥重量

■地点別重量

調査日：令和7年6月5～7日 方形枠：50cm×50cm

地点	調査地点 (St)	種名	湿重量 (kg)	単位面積あ たり湿重量 (kg/m ²)	最長藻長 (m)	平均藻長 (m)	乾燥重量 (kg)	単位面積あ たり乾燥重 量(kg/m ²)
本土2023	1	マメタワラ	2.05	8.20	1.90	1.00	0.246	0.98
	2	マメタワラ	1.65	6.60	2.30	1.40	0.195	0.78
	3	マメタワラ	3.25	13.00	2.65	1.65	0.374	1.49
	4	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.20	8.80	2.55	2.00	0.409	1.64
	5	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.10	8.40	2.15	1.50	0.342	1.37
大島2023	6	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.90	7.60	1.85	1.30	0.282	1.13
	10	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.30	9.20	1.90	1.50	0.387	1.55
	17	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.00	8.00	2.15	1.50	0.338	1.35
平島2023	7	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.45	9.80	2.00	1.50	0.424	1.70
	8	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.65	6.60	1.25	1.05	0.274	1.10
	9	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.75	7.00	1.25	0.95	0.297	1.19
長島2023	11	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.60	6.40	1.35	0.65	0.269	1.08
	12	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.50	10.00	2.30	1.70	0.397	1.59
原島2023	13	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.75	7.00	2.10	1.50	0.343	1.37
	14	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.65	10.60	2.45	1.60	0.387	1.55
机島2023	15	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	1.65	6.60	2.30	1.30	0.265	1.06
	16	ホンダワラ属 (ヨレモクタイプ)	2.60	10.40	1.55	1.20	0.379	1.52
本土2024	18	キレバモク	1.65	6.60	1.10	0.70	0.223	0.89
	19	キレバモク	3.15	12.60	1.35	1.00	0.448	1.79
	20	キレバモク	2.30	9.20	0.50	0.40	0.346	1.38
	21	キレバモク	2.05	8.20	0.55	0.40	0.288	1.15
	22	キレバモク	1.90	7.60	1.55	0.70	0.146	0.58
本土2025	23	キレバモク	2.70	10.80	1.10	0.85	0.241	0.96
	24	キレバモク	1.80	7.20	0.75	0.50	0.281	1.12
	25	キレバモク	1.10	4.40	0.65	0.40	0.076	0.30
	26	キレバモク	2.80	11.20	1.05	0.70	0.426	1.70
平均			2.13	8.54	1.64	1.11	0.31	1.24

■平均重量

地点	調査地点 (St)	湿重量 (kg/m ²)	乾燥重量 (kg/m ²)
本土2023	1,2,3	9.27	1.086
	4	8.80	1.636
	5	8.40	1.368
大島2023	6,10,17	8.27	1.342
平島2023	7,8,9	7.80	1.326
長島2023	11	6.40	1.076
	12	10.00	1.588
原島2023	13,14	8.80	1.460
机島2023	15,16	8.50	1.288
本土2024	18	6.60	0.892
	19,20	10.90	1.588
	21,22	7.90	0.868
本土2025	23,24	9.00	1.044
	25	4.40	0.304
	26	11.20	1.704

※乾燥重量は、60℃48時間乾燥して測定

3.CO2吸収量

P/B比、炭素含有率、残存率①・②、生態系全体への換算係数は、以下の文献値を使用

P/B比	1.53	「第3版磯焼け対策ガイドライン 令和3年3月」	p 11	ヨレモク（京都府舞鶴海域他、平均値）
	1.50	「第3版磯焼け対策ガイドライン 令和3年3月」	p 11	マメタワラ（京都府養老海域）
	1.10	「第3版磯焼け対策ガイドライン 令和3年3月」	p 11	キレバモク（長崎県見崎海域）
炭素含有率	0.32	「第3版磯焼け対策ガイドライン 令和3年3月」	p 10	ガラモ場
残存率①	0.0472	「Jブルークレジット®認証申請の手引き Ver2.4 令和6年3月」	p 41	海藻藻場
残存率②	0.0499	「Jブルークレジット®認証申請の手引き Ver2.4 令和6年3月」	p 41	ガラモ場（ホンダワラ型）
生態系全体への換算係数	1.50	「Jブルークレジット®認証申請の手引き Ver2.4 令和6年3月」	p 41	ガラモ場

※乾燥重量より計算

地点	①	②	③ = ②/1000*10000	代表種	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫ = ①*⑫
	対象生態系の分布面積（実勢面積）（ha）	単位面積当たりの乾燥重量（kg/m ² ）	単位面積当たりの乾燥重量（t/ha）		P/B比	炭素含有率	44/12	残存率①	残存率②	生態系全体への換算係数	単位面積あたりの吸収量（t-CO ₂ /ha/年）	CO ₂ 吸収量（t-CO ₂ /年）
本土2023（St.1~3）	31.48	1.086	10.86	マメタワラ	1.50	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	2.78390	87.637
本土2023（St.4）	25.38	1.636	16.36	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	4.27766	108.567
本土2023（St.5）	29.88	1.368	13.68	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.57692	106.878
大島2023（St.6,10,17）	72.94	1.342	13.42	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.50894	255.942
長島2023（St.11）	23.41	1.076	10.76	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	2.81343	65.862
長島2023（St.12）	5.12	1.588	15.88	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	4.15216	21.259
原島2023（St.13,14）	69.61	1.460	14.60	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.81747	265.734
机島2023（St.15,16）	39.79	1.288	12.88	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.36774	134.002
平島2023（St.7~9）	30.79	1.326	13.26	ヨレモク	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.46710	106.752
本土2024（St.18）	35.83	0.892	8.92	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	1.67683	60.080
本土2024（St.19,20）	80.56	1.588	15.88	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	2.98521	240.488
本土2024（St.21,22）	60.79	0.868	8.68	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	1.63172	99.192
本土2025（St.23,24）	34.08	1.044	10.44	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	1.96257	66.884
本土2025（St.25）	74.80	0.304	3.04	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	0.57148	42.746
本土2025（St.26）	27.47	1.704	17.04	キレバモク	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.50	3.20327	87.993
計	641.93		185.70									1,750.016

4.ベースライン

2023年度申請範囲

〈ベースラインの考え方〉 詳細は別紙2参照

- ・ベースラインの藻場範囲は、令和元年度時点（磯焼け対策実施前）の藻場範囲とする。申請対象の藻場範囲から環境省藻場調査（令和元年～令和2年）以降に回復したと想定される藻場を除く範囲とした。
- ・上記の藻場範囲について、被度を考慮した実勢面積を算出した。
- ・被度は、過去の水産試験場調査結果（2019年6月、飛瀬地区）より設定した。
⇒次頁「ベースライン被度」参照
- ・実勢面積より、ベースラインのCO2吸収量を算出した。

■藻場面積

地点	①	② = 環境省調査-①	③ = ①-②
	藻場面積(ha)	拡大面積 (環境省調査－①)	ベースライン面積 (ha)
本土	62.14	7.44	54.70
大島	75.58	20.42	55.16
長島	19.16	6.89	12.27
原島	36.81	6.27	30.54
机島	55.13	1.81	53.32
平島	27.74	10.57	17.17
計	276.56	53.40	223.16

■CO2吸収量（ベースライン）

※乾燥重量より計算 P/B比、炭素含有率は「3.吸収量」と同じとした。

地点	①	②	③ = ①*②	④	⑤ = ④/1000*10000	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ = ③*⑫
	対象生態系の分布面積 (ha)	被度 (%)	実勢面積 (ha)	単位面積 当たりの 乾燥重量 (kg/mi)	単位面積当 たりの乾燥 重量 (t /ha)	P/B比	炭素含有 率	44/12	残存率①	残存率②	生態系全 体への換 算係数	単位面積 あたりの 吸収量 (t-CO2/ha/年)	CO2吸収量 (t-CO2/年)
本土北側	54.70	9.156	5.00	1.644	16.44	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	4.29	21.450
大島	55.16	9.156	5.05	1.633	16.33	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	4.26	21.513
長島	12.27	9.156	1.12	1.262	12.62	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	3.29	3.684
原島	30.54	9.156	2.79	3.124	31.24	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	8.16	22.766
机島	53.32	9.156	4.88	1.931	19.31	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	5.04	24.595
平島	17.17	9.156	1.57	2.867	28.67	1.53	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	7.49	11.759
計	223.16		20.41	12.461	124.61								105.767

4.ベースライン

■ベースライン被度の設定

2023年度申請範囲

被度（％）は各被度区分の中間値とした。

極点生（被度5%未満）	2.5	%
点生（被度5～25%）	15	%
疎生（被度25～50%）	37.5	%
密生（被度50～75%）	62.5	%
濃生（被度75%以上）	87.5	%

測線	被度（％）						区間延長	区間延長 ×被度
	キレハモク	ツクシモク	ノコギリモク	マメタワラ	ヨレモク類	計		
0						0		
10					15	15	10	150
12.5					37.5	37.5	2.5	93.75
15					2.5	2.5	2.5	6.25
17.5					37.5	37.5	2.5	93.75
20					2.5	2.5	2.5	6.25
30					2.5	2.5	10	25
40					15	15	10	150
42.5					2.5	2.5	2.5	6.25
45					2.5	2.5	2.5	6.25
47.5					15	15	2.5	37.5
50					2.5	2.5	2.5	6.25
60			2.5		15	17.5	10	175
70		2.5			15	17.5	10	175
80			2.5		15	17.5	10	175
90	2.5				15	17.5	10	175
100					15	15	10	150
110					2.5	2.5	10	25
120					2.5	2.5	10	25
130			2.5		2.5	5	10	50
140		2.5		2.5	2.5	7.5	10	75
150		2.5			2.5	5	10	50
160					2.5	2.5	10	25
170		2.5			2.5	5	10	50
180		2.5			2.5	5	10	50
190					2.5	2.5	10	25
200					2.5	2.5	10	25
計						計	200	1831.3

被度（荷重平均） 9.156 %

※被度階級2の中央値なら 15 %

出典：2019年6月28日水産試験場藻場調査
飛瀬地区

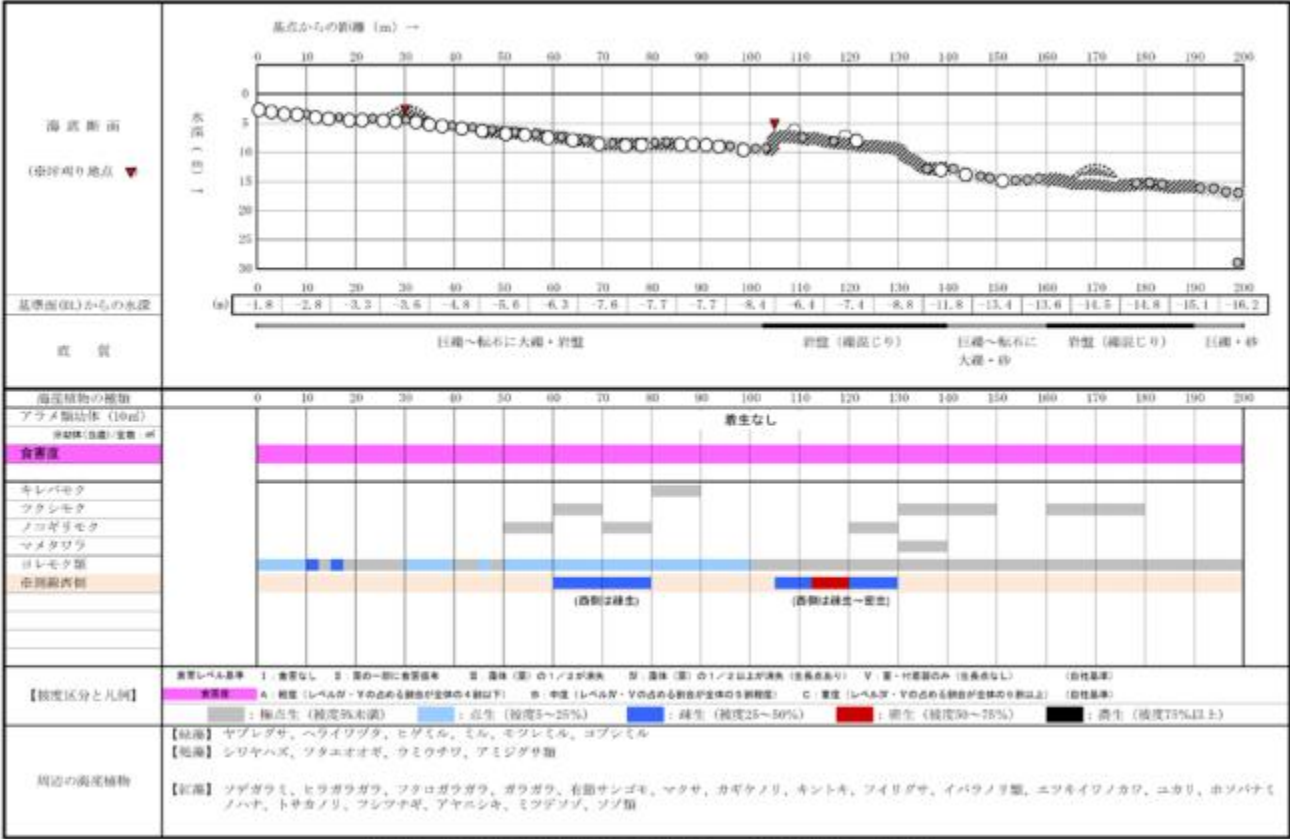


図.1-2 海底断面と植生被度（飛瀬200m：2019/6/28）：第16回

CO2吸収量の算定

別紙3

4.ベースライン

2023年度申請範囲

■調査地点



図. 1-1 調査位置図 (令和元年(2019)6月)

4.ベースライン

2024年度申請範囲

〈ベースラインの考え方〉 詳細は別紙2参照

- ・ベースラインの藻場範囲は、令和元年度時点（磯焼け対策実施前）の藻場範囲とし、環境省藻場調査（令和元年～令和2年度）より面積を算定する。
- ・上記の藻場範囲について、被度を考慮した実勢面積を算出した。
- ・被度は、過去の水産試験場調査結果（2019年6月、万ノ瀬地区）より設定した。
⇒次頁「ベースライン被度」参照
- ・実勢面積より、ベースラインのCO2吸収量を算出した。

■藻場面積

地点	①	② = ①
	藻場面積 (ha)	ベースライ ン面積 (ha)
本土2024 (St.18)	34.52	34.52
本土2024 (St.19,20)	100.29	100.29
本土2024 (St.21,22)	46.30	46.30
計		181.11

■CO2吸収量（ベースライン）

※乾燥重量より計算 P/B比、炭素含有率は「3.吸収量」と同じとした。

地点	①	②	③ = ①*②	④	⑤ = ④/1000*10000	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ = ③*⑫
	対象生態系の 分布面積 (ha)	被度 (%)	実勢面積 (ha)	単位面積 当たりの 乾燥重量 (kg/mi)	単位面積 当たりの 乾燥重量 (t /ha)	P/B比	炭素含有率	44/12	残存率①	残存率②	生態系全 体への換 算係数	単位面積 あたりの 吸収量 (t-CO2/ha/年)	CO2吸収量 (t-CO2/年)
本土2024 (St.18)	34.52	6.125	2.11	1.272	12.72	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	2.39	5.042
本土2024 (St.19,20)	100.29	6.125	6.14	1.260	12.60	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	2.36	14.490
本土2024 (St.21,22)	46.30	6.125	2.83	1.266	12.66	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	2.37	6.707
計	181.11		11.08	3.798	37.98								26.239

4.ベースライン

■ベースライン被度の設定：対象区域外

2024年度申請範囲

被度（％）は各被度区分の中間値とした。

極点生（被度5%未満）	2.5	%
点生（被度5～25%）	15	%
疎生（被度25～50%）	37.5	%
密生（被度50～75%）	62.5	%
濃生（被度75%以上）	87.5	%

測線	被度（％）								区間延長	区間延長 ×被度
	キレバモク	マジリモク	イソモク	アカモク	ソコギリモク	マメタワラ	ヨレモク類	エンドウモク		
0										
10			2.5		2.5	2.5	2.5		10	100
20			2.5		2.5	2.5	2.5		10	100
30	2.5		2.5		2.5	2.5	2.5		10	125
40			2.5		2.5	2.5	2.5		10	100
50			2.5		2.5		2.5		10	75
60					2.5		2.5		10	50
70					2.5		2.5		10	50
80					2.5		2.5		10	50
90					2.5		2.5		10	50
100					2.5		2.5		10	50
110					2.5		2.5		10	50
120					2.5		2.5	2.5	10	75
130					2.5		2.5		10	50
140					2.5		2.5	2.5	10	75
150					2.5		2.5	2.5	10	75
160					2.5		2.5	2.5	10	75
170				2.5	2.5				10	50
180									10	0
190									10	0
200		2.5							10	25
計									200	1225

被度（荷重平均）6.125 %

※被度階級2の中央値なら 15 %

出典：2019年6月28日水産試験場藻場調査
万ノ瀬地区

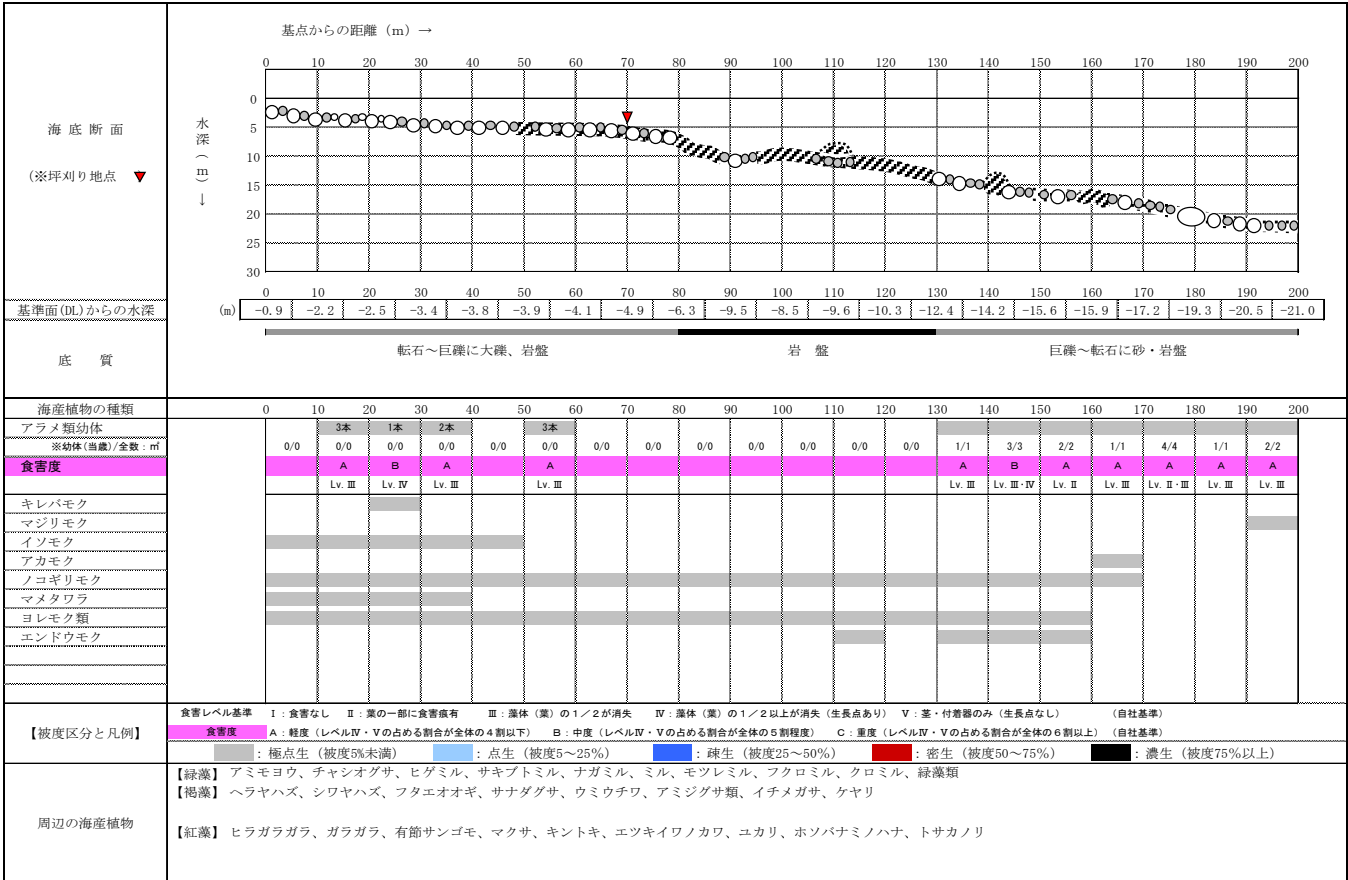


図.1-3 海底断面と植生被度(万ノ浦200m:2019/6/28):第16回

4.ベースライン

■調査地点

2024年度申請範圍



図.1-1 調査位置図（令和元年(2019)6月）

4.ベースライン

2025年度新規申請範囲

〈ベースラインの考え方〉 詳細は別紙2参照

- ・ベースラインの藻場範囲は、令和元年度時点（磯焼け対策実施前）の藻場範囲とし、環境省藻場調査（令和元年～令和2年度）より面積を算定する。
- ・上記の藻場範囲について、被度を考慮した実勢面積を算出した。
- ・被度は、過去の水産試験場調査結果（2019年6月、飛瀬地区、万ノ瀬地区）より設定した。
⇒次頁2023年度、2024年度申請の「ベースライン被度」参照
- ・実勢面積より、ベースラインのCO2吸収量を算出した。

■藻場面積

地点	①	② = ①
	藻場面積 (ha)	ベースライ ン面積 (ha)
本土2025 (St.23,24)	31.62	31.62
本土2025 (St.25)	72.44	72.44
本土2025 (St.26)	4.29	4.29
計		108.35

■CO2吸収量（ベースライン）

※乾燥重量より計算 P/B比、炭素含有率は「3.吸収量」と同じとした。

地点	①	②	③ = ①*②	④	⑤ = ④/1000*10000	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ = ③*⑫
	対象生態系の 分布面積 (ha)	被度 (%)	実勢面積 (ha)	単位面積 当たりの 乾燥重量 (kg/m ²)	単位面積 当たりの 乾燥重量 (t /ha)	P/B比	炭素含有率	44/12	残存率①	残存率②	生態系全 体への換 算係数	単位面積 あたりの 吸収量 (t-CO2/ha/年)	CO ₂ 吸収量 (t-CO2/年)
本土2025 (St.23,24)	31.62	6.125	1.93	1.044	10.44	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	1.96	3.782
本土2025 (St.25)	72.44	6.125	4.43	0.304	3.04	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	0.57	2.525
本土2025 (St.26)	4.29	9.156	0.39	1.704	17.04	1.10	0.32	3.667	0.0472	0.0499	1.5	3.20	1.248
計	108.35		6.75	3.052	30.52								7.555

CO2吸収量の算定

5.船舶使用によるCO2排出量の算定

・ 海域調査の使用船舶CO2排出量は、手引きp15の算定式により算定する。

■ 潜水調査時の船舶使用によるCO2排出量（海域調査）

		①			②	③	④	⑤ = ①*②*③ *④/1000	
	船名	出力	出力 単位	燃料	総稼働時間 (h/年)	燃料消費率 (リットル/kwh)	排出係数 (t-CO ₂ /リットル)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)	備考
1	海宝丸	254	kw	A重油	22	0.046	2.75	0.706	坪刈り調査

■ 水中ドローン調査時の船舶使用によるCO2排出量（海域調査）

		①			②	③	④	⑤ = ①*②*③ *④/1000	
	船名	出力	出力 単位	燃料	総稼働時間 (h/年)	燃料消費率 (リットル/kwh)	排出係数 (t-CO ₂ /リットル)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)	備考
1	海宝丸	254	kw	A重油	17	0.046	2.75	0.546	水中ドローン調査

6.申請量

①	プロジェクト実施後のCO2吸収量	1,750.016 t-CO ₂ /年
②	ベースラインにおけるCO2吸収量（2025年度新規申請範囲）	7.555 t-CO ₂ /年
③	ベースラインにおけるCO2吸収量（2024年度申請範囲）	26.239 t-CO ₂ /年
④	ベースラインにおけるCO2吸収量（2023年度申請範囲）	105.767 t-CO ₂ /年
⑤	潜水調査時の船舶使用によるCO2排出量	0.706 t-CO ₂ /年
⑥	水中ドローン調査時の船舶使用によるCO2排出量	0.546 t-CO ₂ /年
申請量 ①-②-③-④-⑤		1,609.203 t-CO ₂ /年